



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

RI 会長 カルヤン・バネルジー

Kalyan Banerjee

RI第2620地区

ガバナー 積 惟 貞

会 長 塩川 修治

幹 事 市川 祐司

■事務所 〒418-0076 富士宮市錦町7番8号
パテオン内TEL&FAX0544(22)3281 代表

■例会場 パテオン TEL 0544(28)2533
■例会日 毎週月曜日 12:30~13:30
最終月曜日のみ 18:30~19:30
<http://www.fujinomiya-rc.gr.jp>
mail: 2620@fujinomiya-rc.gr.jp



富士山の絵コンクール優秀作品

会長挨拶 (会長代行) 前島 正容 パスト会長

ある朝、台湾には「公德」の心が息づいているという、新聞のコラムを読みました。「汚れた床を年配の女性清掃員が拭っていると、近くの女性客が近づき「謝謝(シェシェ)ありがとう」と声をかける光景に出くわしました。



ここに社会生活に求められる「公德」の心を感じたのです。まさしく思いやりの言葉が心に橋を懸け、社会に調和を生むのです。」とありました。私たち日本国民にもそういう心があるのではないのでしょうか。大震災後、結婚する若者が増え、さらに正月を故郷に帰り一家団らんで過ごした家庭が多かったとの事です。まさしく「絆」を求めた一年でした。ちょっと前、マネーゲームのバブルに酔い、天に唾した事が信じられない光景とも言えます。考えてみると、我が国は大震災で多くを失いましたが、「絆」によって最も貴重な宝物を失わないですんだのかもしれません。「絆」の先に「公德」を培う心が芽生えれば、昇龍のごとく再建に立ち向かえると確信しました。そんなある朝の読後感でした。

幹事報告 幹事 市川 祐司

本日の予定

- ・ 1月30日(月)夜間例会 18:30 点鐘
第三回特別委員会:加茂特別委員会委員長
職業卓話 斉藤哲雄・牧野利一

来信の御報せ

- ・ 玉蘭荘だより(133号)
- ・ 地区チーム研修セミナー開催のご案内(ガバナーエレクト事務所)
- ・ 富士山の日事業への、ご協力のお願い(ガバナー事務所)

例会変更案内

- ・ 富士宮西RC 2月3日(金)→2月4日(土)第3分区 IMに切り替え

連絡事項

- ・ 2月16日(木)5RC マージャン大会
- ・ 2月23日(木)富士山文化遺産登録推進チャリティーコンサート

次週予定

- ・ 2月6日(月) 通常例会 12:30 点鐘 第3分区 IM 報告 塩川会長
*2月4日(土)第3分区 IM 沼津リバーサイドホテル(旧沼津東急ホテル)パテオン 11時30分集合出発車の駐車はなるべく奥の方をお願い致します。

後期会費納入のお願い

副幹事・会計 牧野利一
後期会費と50周年事業積立金の納入をお願い申し上げます。 **¥130,000**
(後期会費 ¥120,000 積立金 ¥10,000)
振込先 : 清水銀行富士宮支店 普通預金 7157016
口座名義 富士宮ロータリークラブ
(振込み手数料はご負担願います。)
* 例会時にご持参いただいてもかまいません。

出席報告 出席委員 大沢 能孝

会員数	計算会員	出席者	出席率	前々回補正出席率
39	37	28	75.68%	94.60%

<本日の欠席者>

黒松 健太郎 / 井上 光由 / 佐野 和義 / 田畑 雅英
伊藤 奎子 / 伊藤 稔 / 塩川 修治 / 勝亦 厚司
木内 久仁彦

<出席免除>

高崎 博次会員

清 英一会員

おめでとうございます

親睦活動委員 渡邊一敏

創業記念日

池谷 滋雄 昭和22年2月1日
木内 久仁彦 昭和9年2月1日

スマイルボックス

親睦活動委員 指出 昌秀

前々会長 前島 正容

2年ぶりの登板に緊張しました。市川幹事にお願
いですが、ピンチヒッターの 指名は3分前でなく
もう少し早く教えてください。

幹事 市川 祐司

塩川会長が本日風邪をひいて休みです。私も
昨日37度2分ばかり熱が出て一日休みました。
皆さまどうぞ風邪をひかないようお体を大切にし
てください。

望月 和恵

加茂さん本日は、お世話になりました。
ありがとうございました。

向井 洋子

先日山形に旅してきました。富士宮は地震、山形
は大雪、思い出に残る主人のいとこ会でした。

指出 昌秀

ウッフッフッフッフ

本日スマイル額	9,000円
累計スマイル額	352,000円
目 標 額	1,000,000円

訃報

長年にわたり富士宮ロータリークラブに貢献された
春田守康会員が1月25日ご逝去 されました
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(享年76歳)



昭和57年10月8日入会
昭和63年第24代幹事
平成6年第30代会長
2001~2002年度
RI 2620 D 地区幹事

私の本棚

渡邊 衛

自然環境とのつきあい方「森とつきあう」

渡邊定元著 岩波書店

地球生態系の現状が破局へ突き進んでいる今、生物の
多様性を保ち、経済的にも成り立ち、自然の恵みを楽し
出来る豊かな森を育て維持していく方法への提言
世界遺産登録を目指す富士山麓に住む一人として大
変示唆に富んだ一冊でした。

職業卓話

斎藤 哲雄 会員(給食センター)



- *昭和47年父が大富士給食創業
自宅庭に作業所を作り300食程度から始めた。
- *私は大学で情報処理の勉強しソフトウェアの会社
に就職したが、父が早朝から遅くまで一生懸命働く
後ろ姿を見て2代目として会社を継いでみたいと思
うようになった。
- *当時、時代の最先端を行く花型の大型コンピュ
ータのソフトウェアの仕事に関わっていた自信と誇
りを断って弁当屋になることのギャップに悩むがそ
んな中で中小企業家同友会の黒松さんから「どうせ
やるなら一生懸命やらないとつまんないよ」と言
われ、目が覚め、一生懸命仕事に励み会社を移転
して衛生管理、仕事のやりやすさを考えた工場を
作った。
- *仕事量の拡大につき、H17年に10年20年先
を見越したHACCP対応、オール電化の新工場を
設立。
- *H22年11月事業内容の拡大により社名変更
株式会社大富士給食→株式会社大富士
- *現在、自分がお客様に売っているのは「感動」
であるという、もの作りの原点を見直そうと今
も日々考えており、これからもお客様に支持さ
れる商品を提供していこうと思います。

牧野 利一 会員(清酒製造)



酒造業の創業は寛保3年(1743年)
約270年になり、私で9代目となります
元々は穀物商が起源となり余剰米か
ら酒造りを始めました。蔵のある上野
地域は、酒造りの条件が大変良い場所
でもあります。穀倉地帯や富士山の
伏流水の豊富さ、冬には、富士山
からの冷たい「富士おろし」と澄
みきった環境で美味しい酒つくり
が出来るとは、大変嬉しくそして
緊張する時でもあります。日本酒
造りの基本は、伝統ある酒造り
をして日本文化を守ることが大切
と考えています。その結果として
、美味しいお酒が出来、多くの方
々に召し上がって頂けることが
幸いと考えます。お酒は、疲労
回復やコミュニケーションの手
助けをするなど、本音で語る事
の出来る潤滑油だと思います。
また、お酒には酒税が課せられ
ています。その額は1兆5千億位
で国税の中でもかなりのウエ
イトをしめ国酒として日本国に
貢献もしておりますので、健康
の為、適量適酒を守り「酒は百
薬の長」となるようにご愛飲を
お願い致します。

